

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	6		整理整頓を心がけて適切な活動スペースを確保するとともに、日々職員で話し合い、その日の利用児童に合わせて臨機応変に空間対応できるように努めています。	利用人数や療育内容によって机の配置を工夫して、落ち着いて活動に取り組める環境づくりに努めています。
	2	6		基準配置以上の配置であり、直接処遇職員はすべて有資格者を配置しております。	送迎等で職員数が手薄になる時間帯もあり、一人ひとりの職員が安全への配慮を心掛けて対応することで、児童の安全面、および療育の質の確保を心がけてまいります。
	3	6		児童の活動の動線を考えた環境を整えるよう心掛け、必要な情報は目視しやすい場所へ掲示しております。 現在、車椅子の利用児童はいませんが、トイレに行く通路が狭く、玄関に段差があるため、安全面に留意しながら支援を行っております。	障がいの特性に対しては、それぞれの児童に合わせた環境を整えて心地よく過ごせるよう継続した配慮を心がけます。 当事業所は、テナントであるために完全なバリアフリーにするのは難しいですが、支援が必要な児童には職員が安全に留意しながら支援を行ってまいります。
業務改善	4	6		リフレクション会議や毎日のミーティングでこまめに情報共有を回り支援目標の達成度や更新を確認しております。	
	5	6		アンケートを実施して保護者様のご意向を確認し、全職員で情報共有を行い、業務改善につなげております。	
	6	6		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7		6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	8	6		内部研修は定期的に行っており、動画による社内研修に全職員が参加し、資質向上に努めています。 今年度はコロナ対策を行った中で管理者中心に外部研修にも参加する機会がありました。	
	9	6		契約時、モニタリング時にアセスメントを行い課題などを把握し、それを基に計画を立てております。 また、家庭連携や送迎時や連絡帳を通して児童の状況・保護者様のご意向を把握するように努めています。	
	10	6		全事業所統一で作成・標準化されているアセスメントシートを使用しております。	
	11	6		支援計画をもとに、チームで立案・役割分担し、協力して支援をおこなっております。 その立案に対しては、日々話し合いをもち、改善・より良い支援提供に努めております。	
	12	6		基本プログラムを軸に、四季に応じた製作やイベント、理学療法士の指導の下、運動療育を行い、児童が楽しめるよう計画しております。	
	13	6		平日は机上での療育、教具を使っでの学習活動が中心ですが、長期休みや土曜日は、日々の療育に加え、製作活動や運動療育を取り入れております。	
	14	6		一人ひとりの特性に応じた目標を設定し、個別活動・集団活動を適宜組み合わせ合わせた支援計画を作成しております。	
	15	6		毎日のスケジュールや、職員配置役割分担を把握できるよう打ち合わせをしたうえで可視化して、共通認識を持って支援にあたるよう情報共有を行っております。	
	16	6		毎日のスケジュールや、職員配置役割分担を把握できるよう打ち合わせをしたうえで可視化して、共通認識を持って支援にあたるよう情報共有を行っております。	
関係機関や保護者様との連携	17	6		日々の支援内容に必ず記録に残しております。 また、支援を行う前に必ず以前の記録に目を通し、様子の詳細や疑問点を職員同士で話し、児童の実態を把握してから支援に臨んでおります。	
	18	6		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを判断しております。	
	19	6		利用児童の課題・保護者様のご意向を基にガイドラインの示す活動を組み合わせ支援計画を練り、支援を行うよう努めております。	
	20	6		児童発達支援管理者や管理者が参画しております。	
	21	6		下校時間や行事など、事前に保護者様からいただいた情報をもとに、送迎の計画を立てております。 また、学校とは送迎時や電話などで情報共有を行っております。	
	22	6		現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	6		就学前から弊社児童発達支援を利用していた児童が多く、当時在籍していた事業所での情報も相談支援専門員より共有していただき、状況把握に努めております。	
	24	6		現在はまだ対象児童はおりませんが、就労に向けた相談があれば、助言や情報提供を行い、就労先とも連携をとってまいります。	今後、対象となる児童が卒業する際には、関係機関等へ必要な情報を提供し、移行先での活動に役立てられるよう努めます。
	25	6		児童発達支援事業所懇談会にて他事業所と情報共有を行い、北九州市自閉症協会主催の後援会に参加し、そこで得た知識を職員にも共有しております。	
保護者様への説明責任等	26	6		個人情報の関係もあり、活動する機会が実現できていませんが、保護者様のご意向を踏まえつつ、必要に応じて今後検討してまいります。	児童の現状や保護者様のご意見等を踏まえて、交流会等の機会を検討してまいります。
	27	6		北九州市自閉症協会主催の後援会に参加し、そこで得た知識を職員にも共有しております。	日程の調整が難しい場合もありますが、自身に必要な研修・講演等に参加できるようにしていきます。
	28	6		連絡帳を通して療育での様子をお伝えし、療育中に見つかった課題などについて、送迎時や家庭連携時に情報共有に努めています。 保護者様とのこまめな情報共有と更新で共通理解を回り、より良い支援に繋がるように今後も継続してまいります。	
	29	3	3	保護者様からの相談に対して児童の様子を見ながら、適切なアドバイスができるように努めています。 また児童の発達段階から保護者様にご提案やアドバイスもできるような努めてまいります。	今後も保護者様の対応力向上を回り、保護者様のニーズに応えていけるよう、寄り添った支援を行ってまいります。
	30	6		契約時に契約書面の各項目について分かり易い説明に努め、ご質問にも丁寧にお答えしております。	
	31	6		連絡帳のやりとりや電話、送迎時、面談をおこなひ、子育てのお悩みやご質問、ご相談に適切な回答・助言などの支援に努めております。	
	32	6		個人情報の関係もあり、保護者様の集まる機会が実現できていませんが、ご意向を踏まえつつ、必要に応じて今後検討してまいります。	児童の現状や保護者様のご意見等を踏まえて、交流会等の機会を検討してまいります。
	33	6		苦情窓口を設置して担当者・責任者を選定し体制を整え、申し入れがあったときは担当者が相談内容に応じて迅速な対応を行っております。	
	34	6		季節ごとに「COMPASS だより」や事業所だよりを発行し、情報を発信しています。	
非常時等の対応	35	6		個人情報の取り扱いに十分注意している	
	36	6		児童や保護者様の特性などを把握したうえで口頭だけでなく特性に合わせた方法を使って意思の疎通や情報伝達を行っております。	
	37	6		個人情報の関係もあり、保護者様の集まる機会が実現できていませんが、ご意向を踏まえつつ、必要に応じて今後検討してまいります。	今後、保護者様のご意見も伺いながら検討してまいります。
	38	6		各種マニュアルを策定するとともに事業所に掲示して契約時に保護者様にご案内させていただきます、定期的な訓練も実施しております。	
	39	6		年間計画を立てたうえで定期的に地震・火災・風水害を想定し訓練を実施しております。	
	40	6		事業所内にて定期的にマニュアルに沿った職員研修を行い、適切な対応が保たれるよう日々努めております。	
	41	6		利用契約書には身体拘束の禁止が記載されており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ることとしております。	
	42	6		契約時に確認を行い、アレルギー児童のリストを作成のうえ、職員と情報共有を行い、対応しております。	
	43	6		ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有している	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。